

目次

[概要](#)

[Cisco TMS で Java ページにアクセスするとログイン プロンプトが表示されるのはなぜか。](#)

[異なるドメイン](#)

[プロキシ経由のアクセス](#)

[IBM/Lenovo コンピュータ](#)

[Red X](#)

[信頼に関する質問](#)

概要

このマニュアルでは、Cisco TelePresence Management Suite (TMS) で Java ページにアクセスした場合にログイン プロンプトが表示される理由について説明します。

Cisco TMS で Java ページにアクセスするとログイン プロンプトが表示されるのはなぜか。

Cisco TMS の [Monitoring] オプションはすべて Java アプレットです。

異なるドメイン

Cisco TMS サーバと同じドメインのメンバーではないマシンから Cisco TMS にアクセスした場合、または Cisco TMS サーバがドメインのメンバーではない場合、各セッションで最初に Java アプレットにアクセスする際にユーザ名とパスワードの入力が求められます。Cisco TMS サーバにログインするために使用したユーザ名とパスワードを入力します。

プロキシ経由のアクセス

プロキシでは Java プラグインで認証の問題が発生する場合があります。プロキシ経由で Cisco TMS にアクセスした場合、[Java Control] パネルのデフォルトのネットワーク プロキシ設定は [Use browser] ですが、これは動作しない場合もあります。コンピュータの [Java Control] パネルでプロキシ設定を手動で構成するか、[Direct connection] 設定を使用します。

ヒント：システムトレイで Java アイコンを右クリックすると、[Java Control] パネルにアクセスできます。

IBM/Lenovo コンピュータ

IBM/Lenovo コンピュータは、認証されたサイトで動作しない場合が多い Java のバージョンがイ

インストールされた状態で出荷されています。Java アプレットにアクセスすると、ユーザ名とパスワードの入力を要求されますが、クレデンシャルは拒否され、プロンプトが再び表示されます。www.java.com に移動して、Java Runtime Environment (JRE) インストールをダウンロードし、JRE のローカル コピーをアップグレードします。新規バージョンがインストールされると、正常に認証できます。

レッドの X

Cisco TMS で Java アプレット ページにアクセスしようとした場合に赤い X が表示されたら、Java がインストールされ、適切に実行されていることを確認してください。これを確認するには、<http://www.java.com/en/download/installed.jsp> のテスト ページに移動してください。セキュリティ ポリシーによって Java が無効になっている可能性もあります。

信頼に関する質問

最後に、Cisco TMS の Java アプレットをダウンロードすると、信頼に関する質問が表示されます。信頼を [Yes] または [Always] に設定することが可能です。システム セキュリティ ポリシーによっては、[Always] オプションが上書きされる場合もあります。